

南九州海難防止強調運動推進連絡会議

令和7年5月27日（火）、鹿児島県鹿児島市において、南九州海難防止強調運動推進連絡会議が開催され、令和6年度の海難防止運動の結果報告と今年度の実施計画の策定が行われました。

令和7年7月16日（水）から7月31日（木）までの間、「海の事故ゼロキャンペーン」を推進するほか、熊本県、宮崎県及び鹿児島県において、次の海難防止運動を展開します。

◆ 台風海難防止強調運動 ～来るぞ台風！備えはよいか！？～

(1) 期 間 令和7年6月21日（土）～30日（月）

(2) 主 催 公益社団法人西部海難防止協会、公益財団法人海上保安協会南九州地方本部、第十管区海上保安本部

(3) 運動目的

南九州地方の独自運動として、本格的な台風の時期を迎えるにあたり、海事関係者の台風に対する認識や海難防止意識の向上を図り、台風による海難を未然に防止する。

(4) 重点事項

① 台風情報の早期把握及び継続的な情報収集

・気象庁の発表する台風情報等の活用

② 早期避難及び保船対策の励行

・適切な避泊場所の選定

・港内避泊船舶の係留強化

・小型船舶の陸揚げ・固縛

③ 走錨事故防止対策の徹底

④ 資材等の流出防止措置の徹底

・養殖漁場、港湾工事施設、貯木場等からの資材等の流出防止

⑤ 国際 VHF（ch16）の常時聴取

(5) 実施内容

ア 台風・津波対策協議会等の開催、情報共有、台風避泊ガイドの活用

イ 走錨事故防止ポータルサイトの活用の啓発

ウ ポスター、リーフレット等による運動の周知

エ 自治体広報誌等への記事掲載による啓発

オ マスメディアを活用した啓発

カ 漁業協同組合等の海事団体を訪問しての啓発

キ 海難防止講習会や巡視船艇による訪船指導

台風海難を防ぐためには・・・



1 大型船は安全な海域へ早期避難

時間に余裕を持って安全な海域に避難しましょう。VHFの常時聴取はもちろん、錨泊をする場合は走錨にも十分注意してください。
テレビやラジオ、海的安全情報等を利用し、最新の情報収集に努めましょう。



2 小型船舶は陸揚げ・固縛

非常に強い台風でも陸揚げされていた船舶に被害が無かった事例もあります。小型船舶は陸揚げ・固縛が一番です。大切な船を守るためにも万全な対策をしましょう。



3 港内避泊の場合は係留強化

隣どおしの船舶を寄せ合って係留強化していたことで、比較的少ない被害で済んだ事例もあります。
陸揚げが困難な場合には台風の影響が少ない港内の船舶密集エリアで係留を強化しましょう。

自己救命策3つの基本も忘れずに！



ライフジャケットの着用義務



連絡手段の確保



港の緊急通報



1 大型船は安全な海域へ早期避難



2 小型船舶は陸揚げ・固縛



3 港内避泊の場合は係留強化

台風対策は早めの備えが重要です！
作業中はライフジャケットを着用して自身の安全も守りましょう！

台風海難防止強調運動

南九州海難防止強調運動推進連絡会議

JRBC

